

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成23年3月1日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

1. 純米大吟醸酒「山形大学燦樹(きらめき)2011」発売
2. オペラ「ヘンゼルとグレーテル」&「室内楽の夕べ」
3. 第3回卒業設計展を開催
4. やまがた星めぐりサイエンスフェスティバル

お 知 ら せ

1. 山形大学地域教育文化学部造形コース卒業・修了制作展
2. 平成22年度 山形大学OBセミナー
3. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』(3月分)
4. 理学部『小さな科学者 体験学習 ～マイナス200度の世界～』
5. 国際事業化研究センター『研究シーズ活用セミナー』
6. 平成22年度 学位記・修了証書授与式、附属学校卒業式

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成23年3月22日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成23年3月1日
山形大学

純米大吟醸酒「山形大学 燦樹（きらめき）2011」発売

山形大学オリジナル純米大吟醸酒『山形大学 燦樹（きらめき）2011』を3月7日（月）から販売します。

1. 純米大吟醸「山形大学 燦樹（きらめき）2011」

3月7日（月）から山形大学生協同組合の全店舗で販売を開始します。
帰省や出張の際のお土産品として、本学学生及び教職員はもとより、地域の方々にもご利用いただき、山形大学の好感度アップにつなげたいと考えています。

2. 原料米は附属農場産出羽燦々100% 使用

原料米には、農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で栽培された酒造好適米「出羽燦々」を100%使用しました。

特に、今年度から特別栽培の認証を受け、慣行より50%以下の農薬・化学肥料で栽培しています。

醸造は、山形県内には多くの蔵元があり、蔵元による違いも楽しんでいただきたいとの思いから、今年度は庄内町余目の鯉川酒造に醸造を依頼しています。

※参考：2007・2008は鶴岡市羽黒の蔵元・竹の露。

2009・2010は鶴岡市大山の渡會本店。

3. 販売数量・価格等

醸造本数は、720ml瓶で生酒を800本、熱処理した火入酒を1,200本の合計2,000本程度となる見通しです。

価格は、720ml瓶入り生酒及び火入酒共に1本1,700円です。熱処理した火入酒は4月の販売開始を予定しています。

小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生協の店舗のほか、ホームページからも通信販売にて購入することができます。

なお、3月8日（火）18:00～鶴岡キャンパスの農学部会館において、新酒試飲会を行います。

4. 売上の一部は奨学金として活用

今年度は、約340万円分が販売され、完売した場合、約24万円が「山形大学未来基金」及び「山形大学学生支援基金」に寄付され、学生の奨学金として活用されます。

（お問い合わせ）

山形大学農学部企画広報室

電話：0235（28）2803

山形大学生協同組合 理事会室

電話：023（641）4380

平成23年3月1日
山形大学

地域教育文化学部音楽研究会
オペラ「ヘンゼルとグレーテル」&「室内楽の夕べ」

文化創造学科音楽芸術コースの学生が、地域の皆さまに日頃の成果を広く発表するために、2つの公演を開催します。

○第15回YCMオペラ本公演「ヘンゼルとグレーテル」

日時：平成23年3月5日（土）開場／13：30 開演／14：00

会場：山形市中央公民館ホール（山形市七日町・アズ七日町6階）

入場料：500円 ※当日券あり

プログラム：別紙パンフレットをご覧ください

YCMオペラは「山形の音楽仲間」という意味で、設立21年を越えています。1997年からは年1回の外部公演（本公演）を行っています。

今回の最大のポイントは、**初めて小学生の皆さんと共演**することです。山形四小様のご協力の下、児童の皆さんが天使役や子ども役として約30人がオペラに出演します。スタッフたちと共にすてきなメルヘンの舞台を作りあげてくれます。

○第39回「室内楽の夕べ」

日時：平成23年3月13日（日）開場／14：00 開演／14：30

会場：山形市中央公民館ホール（山形市七日町・アズ七日町6階）

入場料：300円

プログラム：別紙パンフレットをご覧ください

「室内楽の夕べ」は、ピアノや管弦打楽器、あるいは声楽からなる様々な演奏形態のアンサンブル作品を取り上げ、学外で公演している演奏会です。音楽芸術コースでは伝統的にアンサンブルと個人レッスンの2本柱を教育方針に掲げています。

（お問い合わせ）

山形大学地域教育文化学部 藤野研究室

TEL：023-628-4330

平成23年3月1日

山形大学

山形大学地域教育文化学部生活環境科学コース

第3回卒業設計展を開催

「環境との共生」をテーマに、将来、建築士を目指す学生3名が、地域に根ざした建築卒業設計に取り組みました。

1. 卒業設計展の日程等について

日時：3月2日（水）～3月28日（月）10：00～16：30

場所：山形大学インフォメーションセンター（山形市小白川キャンパス）

2. 卒業設計展の概要について

学生たちが作製した、建築模型ならびに図面の展示を行います。

○芦野愛美「地域における複合建築デザインのかたち」

近代建築を代表する作品や有名建築家が設計した建築物は、時代の流れとともに消失しつつあります。その要因として、周辺環境の変化や建物の老朽化が挙げられます。

今回の取り組みでは、黒川紀章氏設計の寒河江市庁舎を題材に、まちの現状に合わせた用途変更を行い、耐震補強や設備更新によって新たに複合施設として再生させることを提案しました。

○小篠洋平「義左衛門一歴史的建造物の活用による地域活性化」

現代社会において、文化財として保護されるには至っていないものの、地域社会の景観形成、文化の継承、観光資源等として重要な位置づけにある建造物が各地に数多くあります。それら貴重な建造物を住民主体による積極的活用によって、地域の一部としてこれからも存続していくきっかけを見出していきたいと考えました。

今回は天童市山口地区にある豪農の邸宅を対象に、山口地区の地域活性化を中心とした施設としての再生活用案を提案します。

○布施さおり「中心市街地再生のためのまちなかデザイン

ー過ぎるまちから過ごすまちへー

商店街は多くの場合、まちの中心部にあり、そこを中心に地域コミュニティが形成されていきます。本来商店街とは、地域住民のface to faceによる交流や情報交換、地域ならではのコミュニティの形成など、人との繋がりが簡単に出来る場所です。

今回は機能を失いつつある故郷十和田市の商店街に目を向け、以前の賑わいを取り戻すための新たなまちデザインを提案します。

（お問い合わせ）

地域教育文化学部 佐藤慎也

電話：023-228-4377

地域における複合建築デザインのかたち

07210238 芦野愛美（佐藤慎也研究室）

1. テーマ

近代建築を代表する作品や有名建築家が設計した建築物は、時代の流れとともに消失しつつある。その要因として、周辺環境の変化や建物の老朽化が挙げられる。

今回の取り組みでは、まちの現状に合わせた用途変更を行い、耐震補強や設備更新によって新たに複合施設として再生させることを目的とする。

2. コンセプト

寒河江市庁舎（山形県寒河江市）は1967年に建築家故黒川紀章氏が設計し、40年以上経った今でもほぼ竣工当時の姿を見ることができる。しかし、コンクリート造建築物の寿命は約50年と言われ、寒河江市庁舎に限らず近代に建てられた多くの建築物は現在転換期を迎えている。これに伴い、どのような利活用・保存方法が適切であるのかを考察することが重要となる。

本設計では、寒河江市庁舎を例として失われつつある近代建築物の利活用・保存方法を提案し、効果的な意匠の保存を検討する。

3. 対象建築物について

寒河江市庁舎は、黒川氏にとって初めての公共建築物の設計であった。内観は4本のコアによる柱の少ない大空間と開放的な吹き抜けが特徴的である。3階と4階による吹き抜けを黒川氏は、「胎内化」と表現した。また、この吹き抜けには芸術家岡本太郎氏による「生誕（光る彫刻）」と名付けられたモニュメントが天井から吊り下げられ、胎内をあたたかい光で包んでいる。外観は3階4階部分の張り出しが特徴的であるが、これは屋根から全体の床を高張力鋼で吊っているため可能となっている。このように、この市庁舎は他の市庁舎には見られないような意匠を持っている。

最近行われた耐震診断によると、耐震工事が必要であるという診断結果が出たのだが工事は未だに行われておらず、現在は計画段階のみである。今後、耐震工事が実施されるのならば、それに伴い用途変更や意匠変更の可能性もあり得るだろう。

また、近い将来市町村合併などによって、市庁舎としての機能がなくなるときの訪れるかもしれない。市庁舎が市の行政の中心としての役目を終える時、建物も役目を終え取り壊されてしまうのだろうか。もし、これらが現実となった時、意匠の保存や建物の保存が必要であると考え。メタボリズム思想を具現化し、黒川氏の初期の代表作とも言える寒河江市庁舎¹⁾を簡単に無くしてはならない。

4. 保存と活用提案

4.1 保存方法

まちの雰囲気や景色は、建物が大きく影響を及ぼしている。長い間まちの変化を見届けてきた市庁舎は、まちのシンボルとも言える。設計者もまた市庁舎の設計段階では、隣接する敷地に公民館を計画していたことから、人々が集いまちの中心となることを期待していたと推測する。そこで、市民のために機能してきたところに市民自体が入り込み、コミュニティの中心となるような複合施設へのコンバージョンを提案する。

4.2 意匠の保存

特徴のある外観はそのままにし、内部の吹き抜けも保存する。現在、耐震性に問題があるので、意匠変更を伴わない耐震補強方法を工夫する。

4.3 複合施設へのコンバージョン（図1~4参照）

1階と2階はパブリックな空間、3階と4階はセミプライベートな空間で構成されている。

・1階 <オープンスペース,ホール,図書室>

南側には大きなオープンスペースを設けた。ガラス戸を開けると外から自由に入ることができる。中は薄いカーテンで仕切ることができ、個のスペースを確保できる。

北側には図書室を設けたが、すぐ近くに市立図書館があるため、この図書室の蔵書数は少なく寒河江市に関連のある書物を中心に置かれている。また、パソコンによる情報検索も可能である。

・2階 <観光案内,貸しスペース,カフェ>

貸しスペースでは、作品の展示や普段店舗を持たずに営業している店などが出張営業をする場所となる。

カフェは夜も営業し、光るモニュメントの下で人々は語らう。

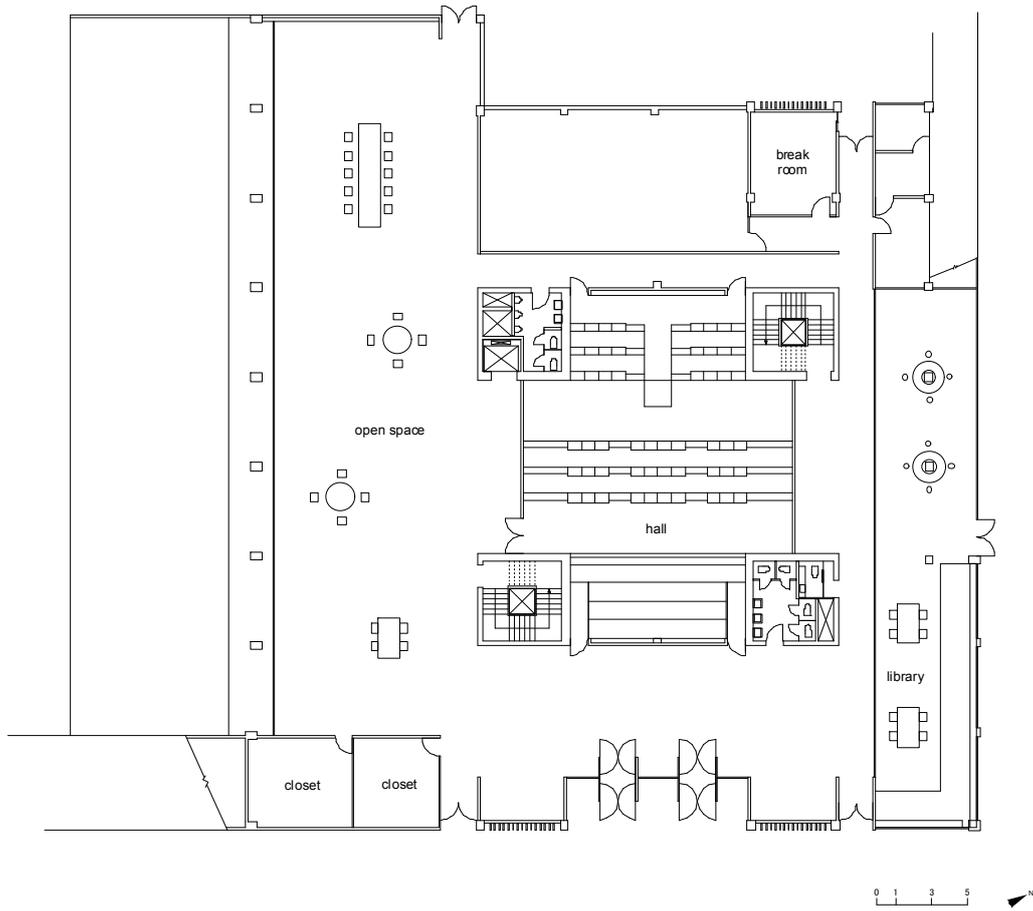
・3階 <居住スペース>

入居者には特に条件を付けず、様々な年代の人や経歴を持った人々が住む。共に暮らすことで新たなコミュニティが生まれる。

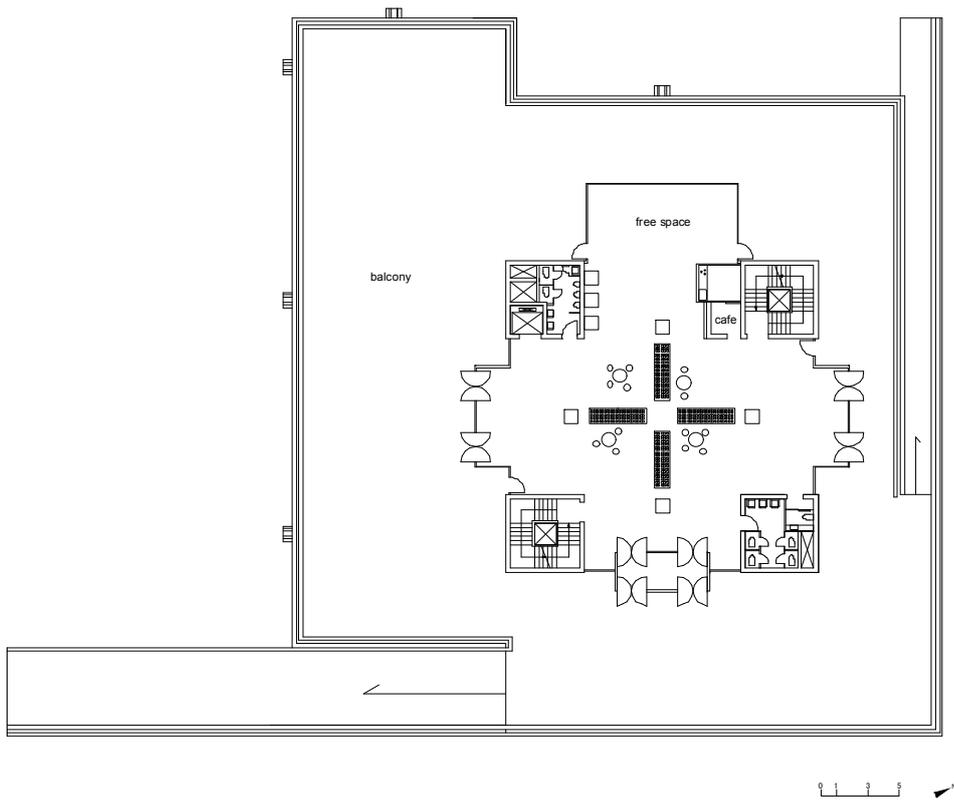
・4階 <居住スペース>

3階と同様に居住スペースとなっているが、短期滞在者向けの部屋もある。短期滞在者とは、市外や海外からの観光客や農業体験者を指す。短期滞在者向けの部屋にはキッチンが付いていないため、コモンスペースにキッチンがある。

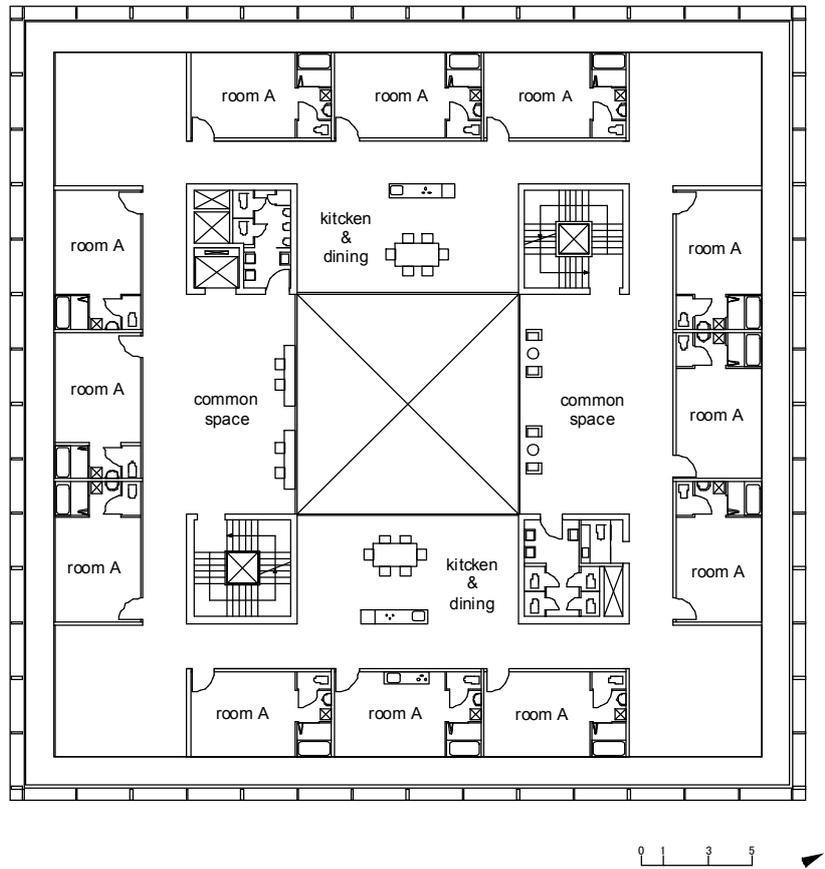
1) 2004年 Docomomo Japan-1970年までの日本近代建築100選に山形県で唯一選ばれた



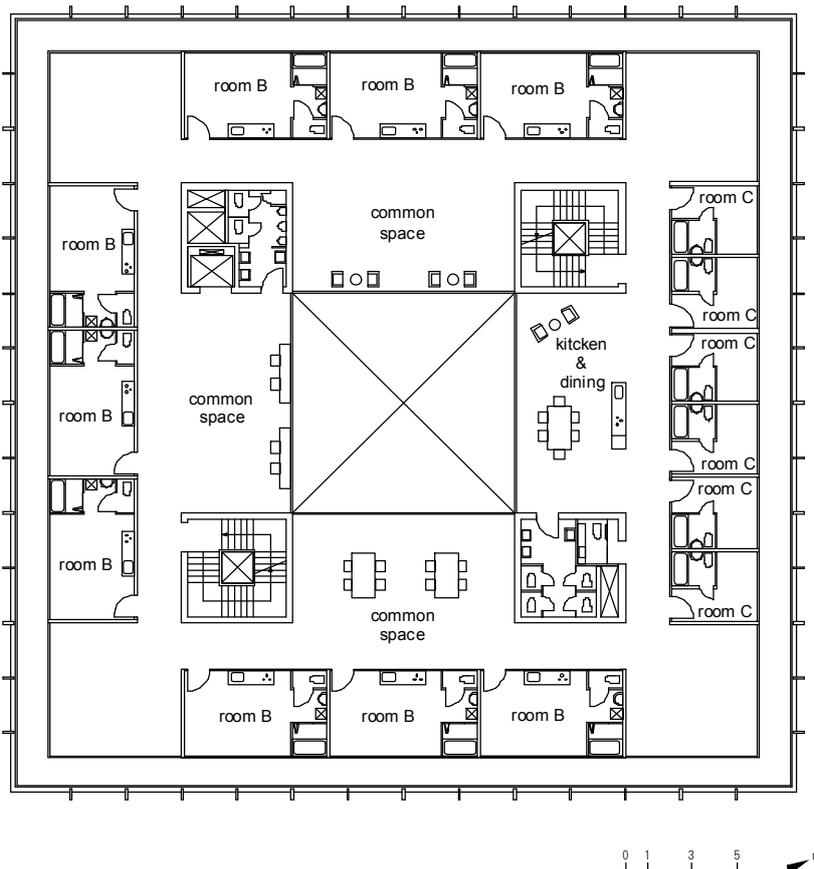
(图 1) 1 階平面图



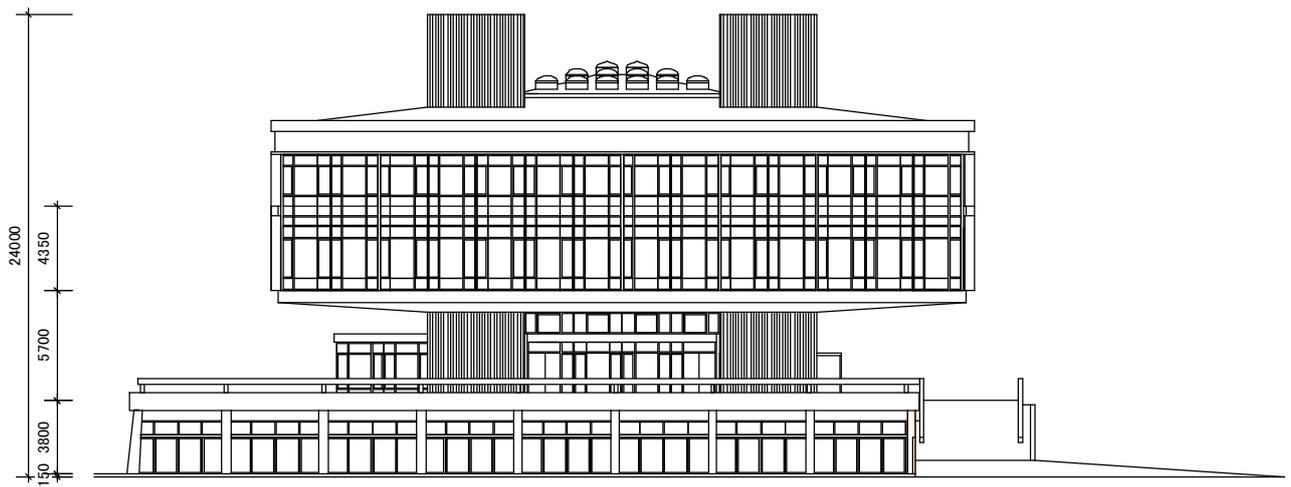
(图 2) 2 階平面图



(図 3) 3 階平面図



(図 4) 4 階平面図



(图 5) 南立面图

参考資料

寒河江市庁舎新築工事实施設計図

義左衛門

—歴史的建造物の活用による地域活性化—

07210244 小篠洋平（永井康雄研究室）

1. コンセプト

現代社会において、多くの建造物が建築史的または文化的意義があるとされ、文化財として保護されている。しかし、生活様式の急速な変化などにより、そうした価値を認識されることなく破壊される建造物は少なくない。こうした歴史的建造物たちの危機を救うため、重要文化財指定を補完するものとして文化財登録制度が創設された。しかし、これらの制度も万能ではなく、人為により数多くの古き良き建物が破壊されている現状は否めない。

文化財として保護されるには至っていないものの、地域社会の景観形成、文化の継承、観光資源等として重要な位置づけにある建造物が各地に数多くある。それら貴重な建造物を住民主体による積極的活用によって、地域の一部としてこれからも存続していくきっかけを見出していきたい。

ここでは、天童市のまちづくり市民アンケートや市民満足度・重要度アンケートの結果と現地調査によるデータを考慮し、〈山口地区の地域活性化〉を中心として考えていく。

2. 方法

2.1 対象の選定

天童市の中心市街地から北東に約 3.5km 離れた田園集落の中にある。アクセスとしては、山形空港や天童 IC、JR 天童駅など恵まれた環境にある。また、周辺には若松観音で知られる若松寺や天童高原リゾートなどの観光地のほか、多くの果樹園がある。当家は現 18 代当主まで続く地元の大地主で、原崎沼の改修工事や年貢米の集積所の役割などを行ってきた歴史を持ち、地域における中心的な位置づけを果たしてきた。

2.2 実測調査（図面 1 参照）

敷地内には母屋、座敷蔵、居宅（旧郵便局）、味噌蔵、米蔵、前蔵（宝蔵）、旧蠟燭小屋、農具小屋、門×2 門があり、まずは敷地の測量及び上記建物の実測調査によって建造物の現状の把握と配置図面の作成を行う。

2.3 天童市民意識の検討

計画に反映するため、まちづくり市民アンケートや市民満足度・重要度アンケート結果のデータをもとに、地域住民の生活に対するニーズを調査した。その結果、地域や多世代間の交流・就労の場の確保・社会教育や生涯教育に対する要望が多いことが分かった。

3. 設計提案

全体計画

テーマ

「生きがいの創出・地域コミュニティの活力向上のきっかけを得るための施設」

3.1 文化交流施設（図面 2 参照）

〈対象建物：母屋・座敷蔵・居宅（旧郵便局）〉

現状：母屋南側に後付けの風呂場と台所がある。また、居宅の東側には郵便局時代の入口を塞いだ後が壁面に残っているが、全体的に旧状を良く残している。

活用方法：〈山口地区の活性化〉のきっかけ作りの施設として、文化交流施設として利活用する。

母屋の東側半分と座敷蔵 1 階、居宅 2 階は、既存の襖を利用した空間の区別が容易な点を考慮し、美術や運動などの教養セミナーや地区イベントの会場として利用できる教室スペースとする。

座敷蔵 2 階は子供を対象にした作業空間とし、誰でも自由に活動できる〈集団学習・作業エリア〉、個人的に利用したい人のための〈個別集中エリア〉、そしてグループ利用に特化した〈子ども集会室〉の 3 つのエリアとする。

母屋の西側半分は、土間と板の間からなるシンプルかつオープンな空間デザインをし、地域の人々や地域外の人々が囲炉裏を囲んで談笑できる交流エリアとしてする。

3.2 展示施設（図面 3 参照）

〈対象建物：米蔵〉

現状：東側入口付近に建物を撤去した痕跡があり、またその周辺壁面の老朽化が進んでいる。

過去には米の貯蔵蔵であった。だが、現在は農機具などの物置となっている。

活用方法：掘りより北側の敷地のほぼ中心に位置し、現存する建物の中では最も建築年代が古いと言われている。また貯蔵蔵であったため仕切りが少なく空間利用する際の自由度が高い。そのため、フレキシブルな施設計画とする。

通常時は、当家に伝えられてきた福沢諭吉関連の収蔵品や当家の歴史、地域の歴史等の展示施設として使用する。また、地区や季節行事などの際にはイベント施設としての利用を想定する。展示空間は当該建物の平面的特徴を活かしたフレキシブルな平面計画とする。西側と東側にはオープンスペースであるデッキを新たに設けることで活用の幅を広げる。

3.3 作業施設（図面 4 参照）

〈対象建物：旧蠟燭小屋・農具小屋〉

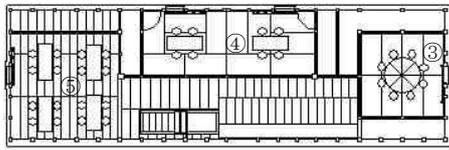
現状：2棟ともに老朽化が進んでおり、大規模修復を行いコンバージョンする必要がある。

活用方法：地域でとれる果物や鴨などを用いた地場産品の開発・育成による〈地域住民の生きがいの創出〉という観点から、敷地内における作業場兼販売所とする。

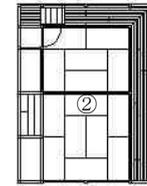
これらの建物は敷地南側の入口部分に位置し、敷地内へと利用者を誘導する意味合いを持たせる。そのため、利用者の動線を形成するきっかけとなる回廊の出発地点をこの施設に設け、利用者の動線がより敷地内に移行しやすいような動線計画とする。



- ① 囲炉裏
地域の人々や地域外の人々の交流エリア
- ② 教室スペース
教養セミナーや地域イベントの会場として利用
- ③ 子ども集会室
グループ活動のためのエリア
- ④ 個別集中エリア
個人的な作業のためのエリア
- ⑤ 集団学習・作業エリア
利用者の自由度が高いエリア

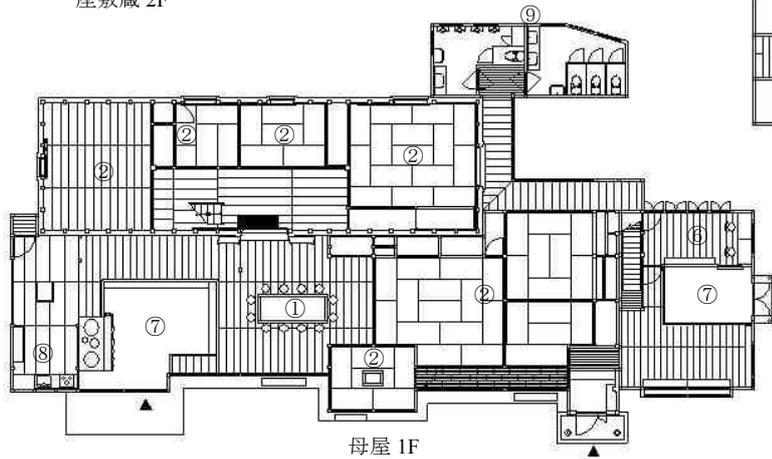


座敷蔵 2F

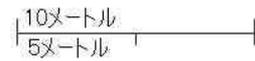


郵便局 2F

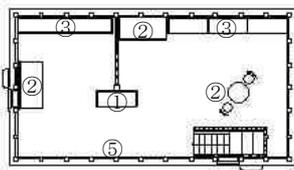
- ⑥ 情報センター
- ⑦ 土間
- ⑧ 給湯室
- ⑨ トイレ



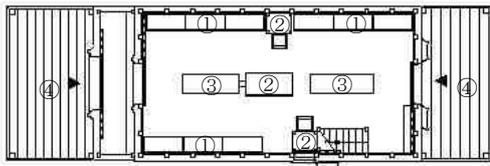
母屋 1F



(図面 2) 文化交流施設-平面図

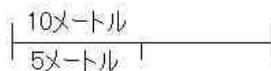


米蔵 2F



米蔵 1F

- ① 展示ケース
福沢諭吉関連の文献など貴重品の展示
- ② 閲覧・休憩スペース
- ③ 展示台
長持や箆笥などを利用した<見て触れる>展示
- ④ デッキ
- ⑤ 壁面展示
漆喰の壁面をキャンバスに見立てたパネル等の展示



(図面 3) 展示施設-平面図



(図面 4) 作業施設-平面図

4.謝辞

今回、実測調査をするにあたり、屋敷所有者、敷地管理者の方々や学生の皆さんには多大なご協力を賜りました。ここに感謝の意を込め謝辞とさせていただきます。

参考文献

天童市総務部市長公室：第六次天童市総合計画策定に係るまちづくり市民アンケート調査結果(第一集計)平成 21 年 6 月

天童市総務部市長公室：市民満足度・重要度アンケート調査報告書 平成 22 年 8 月

天童市史編纂委員会：天童市史

中心市街地再生のためのまちなかデザイン ～過ぎるまちから過ごすまちへ～

07210253 布施 さおり （佐藤 慎也 研究室）

1. テーマ

商店街は多くの場合、まちの中心部にあり、そこを中心に地域コミュニティが形成されていく。本来商店街とは、地域住民の face to face による交流や情報交換、地域ならではのコミュニティの形成など、人との繋がりが簡単に出来る場所である。これらはまちの魅力そのものであり、賑わいや活気、人々の暮らしにも必要なものである。地域中心部の衰退が進めば、地域住民や高齢者にとってまち全体が不便となってしまう、地域の活力低下をも招くことになる。現在、その機能を失いつつある商店街に目を向け、以前の賑わいを取り戻すための新たなまちデザインを提案する。

1. 敷地について

<青森県十和田市・中心市街地区域内の商店街>

中心市街地の道路は基盤の目のように構成されており、中でも商店街は国道に沿って形成されている。近くには公共施設の充実した官庁街通りがあり、整備された歩行空間や近年建てられた現代美術館によって観光客が見られるようになった。一方、商店街は人通りの少ないさびしい状態が続いている。

商店街には以前2つのデパートが立ち並んでいたが、不況の煽りや郊外への大型店の進出によって、大幅に客足が減少。さらに空洞化が進んでしまった今、地域住民による賑わいがなくなり、商店街というよりも「ただ通り過ぎるだけのまち」となっている。

3. まちなかデザインのコンセプト

本設計では、衰退した商店街を「過ぎるまち」から「過ごすまち」にすることを目標とする。商店街で過ごす目的として、買物など商業面の充実を図ることはもちろん重要であるが、今回は居住空間に着目し、商店街における新たな暮らし方を提案する。なぜなら、身近な場所での充実した生活を可能とすることで、これからの少子・高齢社会に対応した、安心・安全で人と人との触れ合いのある生活をしてほしいからである。更には歩いて楽しむという要素を生活に取り入れることで、住民や来街者が心身ともに元気になれるような暮らし方を計画したい。

また、「アートを通じた経験」という十和田市現代美術館のコンセプトと連携を図り、ここの商店街ならではの魅力をつくり出す。

4. 建築的・空間的アイデア

a. 敷地計画：(図1・図2・図3参照)

商店街の2階部分を新たな居住空間と仮定して計画する。敷地全体に2階床の高さで人工地盤を設定し、そこに住戸やコモンルームをちりばめ、まちなかそのものをコレクティブハウスのようにまとめる。また、人工地盤を部分的に取り除くことで、2階の空間に地面からの樹木を取り入れる。

b. キューブ型住戸：(図4・図5・図6参照)

住戸人数に対応できるように3種類設計。それぞれにシンプルながらトイレ、浴室、キッチンを設置することで独立度の高い生活も可能となる。同型の住戸を敷地にちりばめることで連続性が生まれ、まちなみができあがる。また、住戸の位置や向きによって、庇やルーバーで個性を持たせ、景観に変化を与える。

c. コモンスペース：(図7・図8・図9参照)

キッズルーム、トレーニングルーム、ダイニングルーム、ランドリーに加え、農園やアトリエを提案する。フレキシブルな空間になっているので、住民らがそれぞれの部屋に必要なものを用意し、みんなで共有する。これらの共有スペースをパブリックコモンという外に開くスペースにすることで、趣味や生活を通して住民以外の人とも関わられるなど可能性の広がる暮らし方を期待する。

d. カフェギャラリー：(図10参照)

商店街の休憩スペースでありながら、気軽にアートの触れられる空間をつくる。アトリエで作製した作品を発表する場となる。

5. 波及効果

コレクティブハウスは、居住者が自主運営・自主管理することで建物・空間に愛着を持ち、自らコミュニティを創りつつ良好な住環境をつくることができ、1人や小さな家族では持てないような空間や設備を共同で持てるというメリットがある。コレクティブハウスの要素(キューブ型住戸、コモンスペース等)をまちの一角にちりばめることでまちなかに回遊性が生まれる。農園やアートでの作業を通して、意識せずとも心にゆとりが生まれ、健康増進に繋がるなど、まちで過ごす人が心身共に元気になれることを期待している。まちなかに魅力ある居住空間ができ、人が集まることによって、店舗が活気を取り戻すことを期待する。

参考文献

1) 十和田市中心市街地活性化基本計画(H21.12)

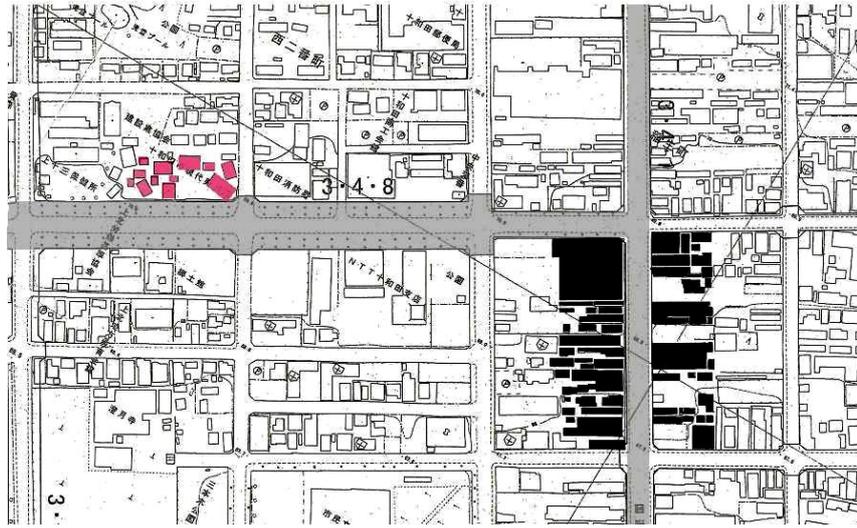


図1 敷地図



図2 配置図1F

図3 配置図2F

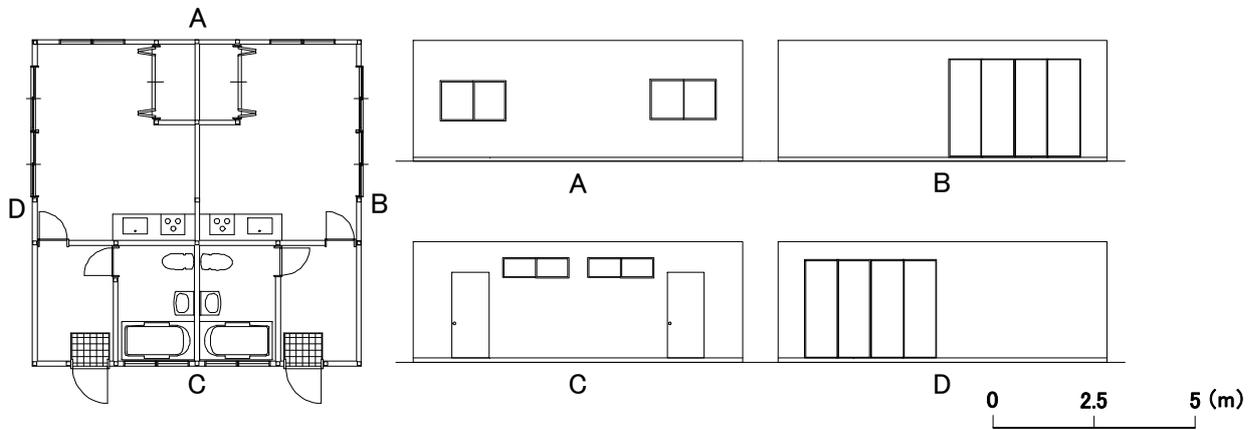


図4 住戸(1)の平面図・立面図

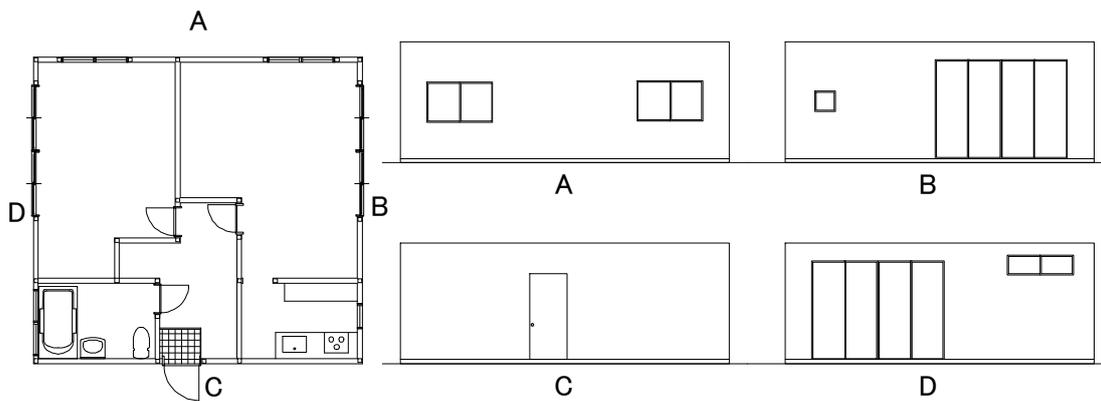


図5 住戸(2)の平面図・立面図

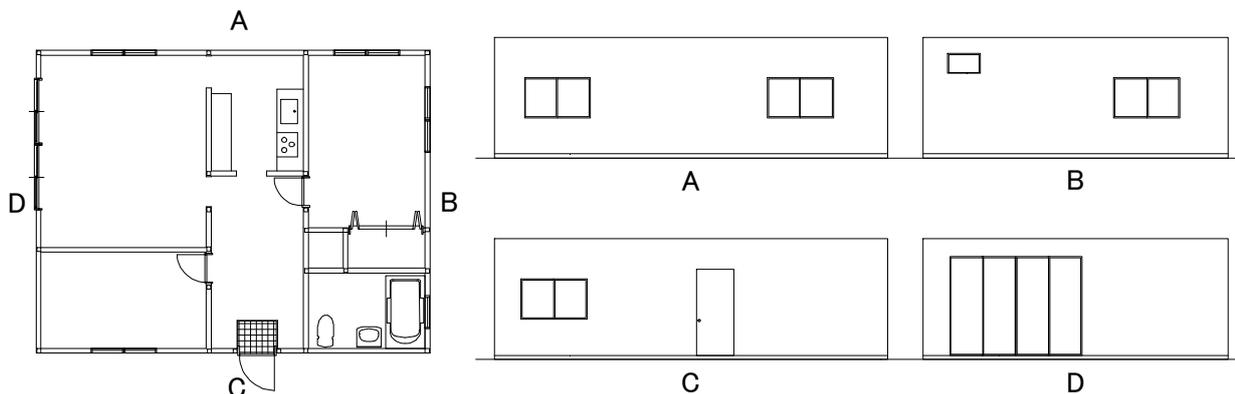


図6 住戸(3)の平面図・立面図

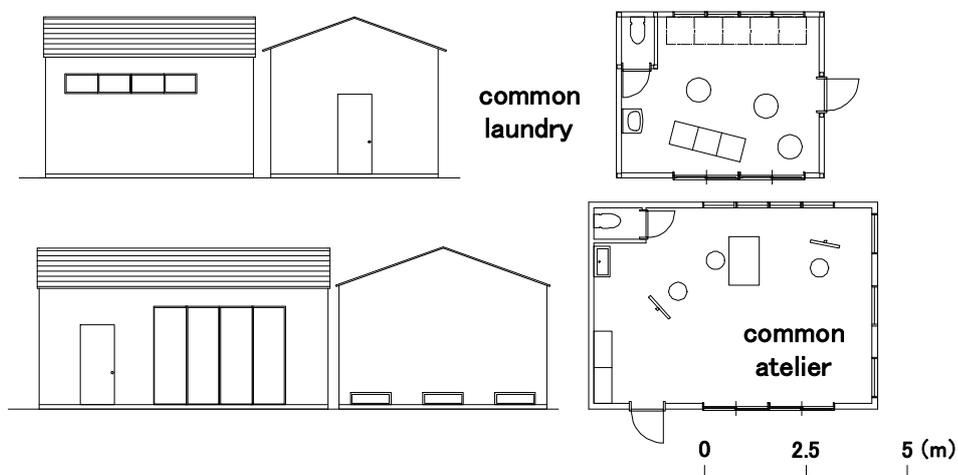


図7 コモンルームの平面図・立面図(1)



図 8 コモンルームの立面図(2)

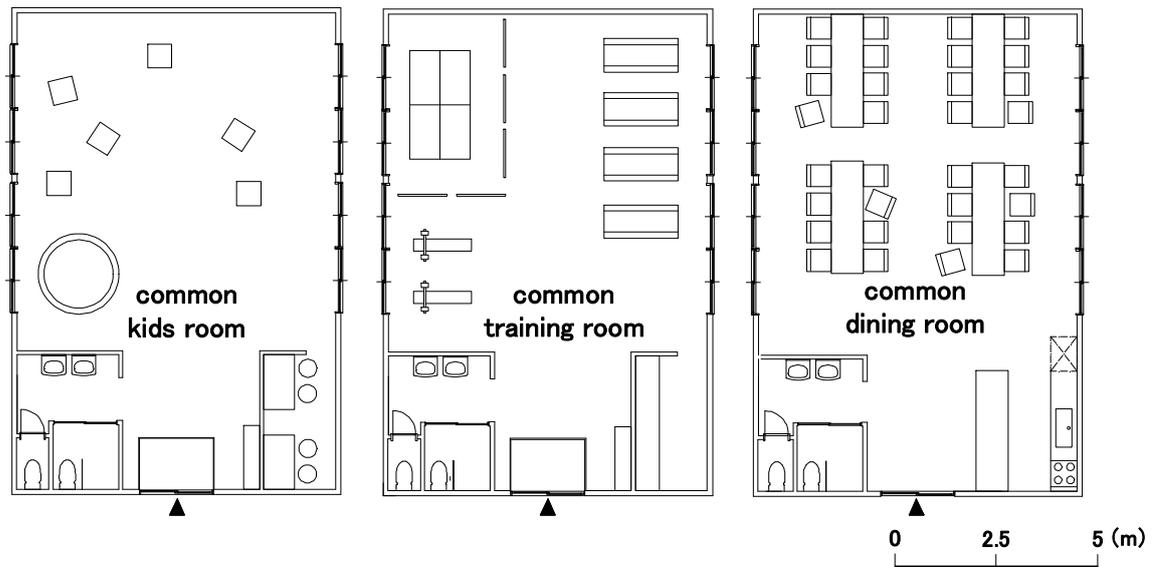


図 9 コモンルームのバリエーション

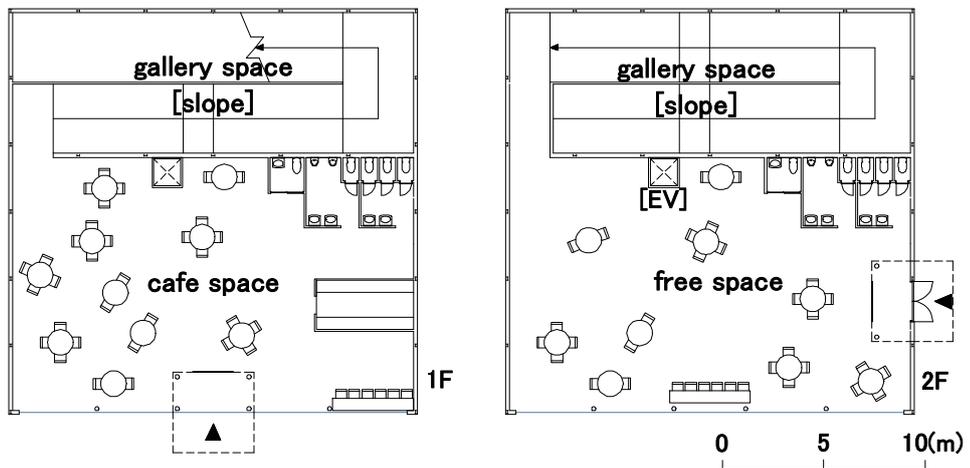


図 10 カフェギャラリー 平面図

平成23年3月1日
山形大学

やまがた星めぐりサイエンスフェスティバル

『んだ！「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクトは、小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセルを歓迎し、市内各所で歓迎イベントを開催します。

○やまがた星めぐりサイエンスフェスティバル

3月19日から6月13日（小惑星探査機「はやぶさ」帰還1周年）までを期間として、山形市では初めての試みとなる、産学官のプロジェクトチームによる「やまがた星めぐりサイエンスフェスティバル」を開催いたします。

山形市教育委員会が主催する、「はやぶさ」帰還カプセル展示会を中心として、市内各所で「はやぶさ」や星に関するフェスティバルを開催いたします。

フェスティバルの開催イベントの詳細は、順次お知らせして参ります。現在、開催を予定しているイベントは別紙のとおりです。

※『んだ！「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト：

やまがた星めぐりサイエンスフェスティバルを主催し、「はやぶさ」帰還カプセル展示会をサポートするために、七日町商店街振興組合、山形スリーエム株式会社、山形市教育委員会、山形市中央公民館、山形県産業科学館、山形県立博物館、山形大学、山形大学理学部、NPO法人 小さな天文学者の会などで組織する、プロジェクトチームです。現在、拡大中です。

(お問い合わせ)

『んだ！「はやぶさ」見に行がんなね』プロジェクト

(プロジェクト代表：柴田晋平

(山形大学理学部 教授)

TEL：023-628-4552

☆オープニングイベント（講演会＋映画上映会）

～小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展示プレイベント～

○日 時、内容：平成23年3月19日（土）

① 13：30～14：30

上杉邦憲 氏（JAXA名誉教授）講演会

「～小惑星探査機「はやぶさ」が運んでくれたもの～（仮題）」

② 14：40～15：30

映画「Hayabusa --Back to the Earth --」上映会

○場 所：山形市中央公民館（AZ七日町）6階 中央公民館ホール

○主 催：七日町商店街振興組合、山形市中央公民館

○共 催：山形市教育委員会（予定）、

「んだ！はやぶさ見に行かんね」プロジェクト

○概 要：4月7日～10日に開催される「はやぶさ」帰還カプセル展示会のオープニングイベントとして開催いたします。

山形県に所縁の深い、上杉名誉教授をお迎えし、「はやぶさ」プロジェクトについて講演をいただきます。

また、「Hayabusa --Back to the Earth --」上映により、市民の方に「はやぶさ」の旅の行程についての理解を深めていただきます。

☆小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル展示 in 山形

○日 時：平成23年4月7日（木）～10日（日）10：00～19：00

○場 所：山形市中央公民館 4階 大会議室（AZ七日町）

○入場料は無料ですが、整理券が必要です。

○主 催：山形市教育委員会

○概 要：平成15年5月に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」は、約20億kmを旅した後、平成17年9月に小惑星「イトカワ」に到着し、同年11月に「イトカワ」への着陸に成功しました。

その後、通信途絶やエンジン故障など数々のトラブルに見舞われましたが、昨年6月帰還し、世界で初めて、月と彗星以外からの物質を持ち帰りました。

昨年11月には、帰還カプセルから回収された、1,500個程度の微粒子が、小惑星「イトカワ」由来の物質であることが判明しました。

☆君のロケットで「はやぶさ」を飛ばしてみよう

ーペットボトルロケット飛ばし大会ー

- 日 時：平成23年4月9日（土）
- 場 所：山形県産業科学館4階「発明工房」（霞城セントラルビル）
- 概 要：【1回目】10時30分～11時
【2回目】12時30分～13時30分
【3回目】14時～15時
発射体験：山形駅西イベントゾーン
定 員：各回30名
対 象：中学生まで
持 ち 物：空のペットボトル2本 炭酸飲料の500mlに限る
参 加 費：無料
講 師：山形大学(理学部)栗山恭直教授 他、学生の皆さん
※JAXA（日本宇宙フォーラム）より提供いただき、宇宙関連の映像放映・展示を行います。（2階FSスクリーン、季節展示コーナー）

◎雨天時には、若干内容が異なります。

☆「うつくしい鉱物や岩石」展

- 日 時：平成23年2月26日（土）～5月8日（日）
- 場 所：山形県立博物館
- 概 要：1917年地球に落下した“プレインビュー隕石”や、色彩豊かな“孔雀石”、奇妙な形をした“砂漠のバラ”など、本館で収蔵しているめずらしい資料を紹介します。

☆JAXAタウンミーティング in 山形

- 日 時：平成23年4月16日（土）14：00～16：30
- 場 所：山形市中央公民館（AZ七日町）4階 大会議室
- 対 象：高校生以上（定員150名）、参加費無料
- プログラム（予定）
 - 第一部 話題提供者 JAXA執行役 長谷川 義幸 氏
 - 第二部 話題提供者 JAXAプロジェクトマネージャ 中村 富久 氏

☆講演会『「はやぶさ」が運んでくれたもの、そして、「はやぶさ2」へ』
～太陽系誕生の歴史に迫る～

同時上映映画：Hayabusa --Back to the Earth --

- 日 時：平成23年4月23日（土）13：30～16：45
- 場 所：遊学館大ホール
- 講 師：吉川 真（JAXA准教授）（はやぶさプロジェクトサイエンティスト、
はやぶさ2プリプロジェクトマネージャー）

☆ゴールデンウィーク四次元シアター上映会

- 日 時：平成23年5月3日（日）～5月8日（日）
- 場 所：山形県立博物館
- 概 要：立体的にみる宇宙をおたのしみください。

☆街角で月を～植木市観望会～

- 日 時：平成23年5月9日（月）19：00～21：00
- 場 所：文翔館（北東角）

☆やまがた天文台「星空ガイドツアー、惑星を見よう」

- 日 時：毎週土曜日19：00～21：00
- 場 所：山形大学インフォメーションセンター

☆クロージングイベント『「はやぶさ」が持ち帰ったものの正体に迫る』

- 日 時：平成23年6月12日（日）13：30～16：30
- 場 所：山形大学理学部大講義室
- 招待講演：

- ★「はやぶさカプセルの地球帰還から、カプセル開封、
いとかわ微粒子発見まで」
中村智樹（東北大学大学院理学研究科 准教授）
- ★「イトカワから持って帰られた微粒子はどのようなものか？」
野口高明（茨城大学理学部 教授）

「はやぶさ」の帰還や、持ち帰った物質の解析の結果を、テレビ出演などでも著明な両先生にていねいに解説していただきます。解析の裏話も聞けるかもしれません。

さて、従来の太陽系形成、小惑星形成の考えかたは正しかったのでしょうか。

プレス通知資料（概要）

平成23年3月1日
山形大学

1. 山形大学地域教育文化学部造形コース卒業・修了制作展

（概要） 地域教育文化学部 文化創造学科 造形芸術コース3期生と大学院地域教育文化研究科文化創造専攻造形芸術分野の修了生たちが、愛媛大学との初めての合同卒業・修了制作展を開催します。

日時:平成23年3月1日(火)～6日(日) 9:00～17:45

(初日15:00から、最終日12:00まで)

場所:山形大学東京サテライト

(港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター)

問い合わせ:山形大学東京サテライト

(TEL)03-5440-9071

2. 平成22年度 山形大学OBセミナー

（概要） 山形大学同窓会員の皆様に、現在の山形大学の取り組み等を紹介し、一層のご理解をいただくため、本セミナー及び交流会を開催いたします。

日時:平成23年3月5日(土) 10:30～14:30

場所:山形大学東京サテライト

(港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター 1階国際会議室)

参加費:セミナー無料、交流会4,000円

定員:100名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形大学東京サテライト

(TEL)03-5440-9071

3. 大学コンソーシアムやまがた『やまがた夜話』（3月分）

（概要）「大学コンソーシアムやまがた」では、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマにそれぞれの得意分野をわかりやすくお話しします。

【第15回】

日 時:平成23年3月2日(水) 18:30～19:30

講 師:前田 裕司 氏(山形大学大学連携推進室 教授)

「外来人が感じる山形の資源 —資源活用に関する大胆すぎる提案—」

【第16回】

日 時:平成23年3月9日(水) 18:30～19:30

講 師:山崎 眞二 氏(山形大学大学連携推進室 教授)

「民主党政権とマスメディアの攻防」

【第17回】

日 時:平成23年3月16日(水) 18:30～19:30

講 師:片桐 隆嗣 氏(東北芸術工科大学 教授)

「地域で若者を育てる仕組みづくり」

【第18回】

日 時:平成23年3月23日(水) 18:30～19:30

講 師:明石 康 氏(スリランカ問題日本政府特別代表、元国連事務次長)

「山形と私」

場 所:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

[詳しくは、別添の資料をご覧ください]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局

(TEL)023-628-4842

4. 理学部『小さな科学者 体験学習 ～マイナス200度の世界～』

（概要）理学部では、親子で参加できる実験講座「小さな科学者 体験学習会」を毎年企画しています。

マイナス200度は超低温の世界です。バラの花はバラバラになり、テニスボールもガラスのように割れます。風船はどうなるでしょうか。しゃぼん玉はどうでしょうか。超伝導(ちょうでんどう)というのは何でしょうか。さあ、超低温の不思議な世界で、わくわくしてみませんか。

日 時:平成23年3月12日(土) 13:30～15:30

場 所:山形大学SCITAセンター(山形市・小白川キャンパス)

参加費:無料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形大学理学部事務ユニット 鈴木

(TEL)023-628-4505

5. 国際事業化研究センター『研究シーズ活用セミナー』

(概要) 積極的な産学官連携のための研究シーズ活用セミナーを開催します。

日 時:平成23年3月14日(月) 13:00~14:30

場 所:アクティール米沢 2階大会議室(米沢市西大通)

※セミナー参加者には山形大学国際事業化研究センター刊「プロセス革新のための技術シーズ集」冊子を贈呈します。

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:置賜の次代を担うものづくり企業創出事業 プロジェクト事務局 金子
(TEL)0238-40-0761

6. 平成22年度 学位記・修了証書授与式、附属学校卒業式

●人文学部、地域教育文化学部、理学部、医学部

日 時:平成23年3月25日(金) 10:00開式

場 所:山形県体育館(山形市)

問い合わせ:山形大学総務部総務ユニット (TEL)023-628-4006

●工学部

日 時:平成23年3月21日(月・祝) 10:00開式

場 所:米沢市営体育館(米沢市)

問い合わせ:工学部企画総務チーム (TEL)0238-26-3005

●農学部

日 時:平成23年3月17日(木) 11:00開式

場 所:東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市)

問い合わせ:農学部総務担当 (TEL)0235-28-2805

●附属幼稚園

日 時:平成23年3月15日(火) 10:00開式

場 所:附属幼稚園(山形市松波2-7-1)

問い合わせ:(TEL)023-641-4446

●附属小学校

日 時:平成23年3月19日(土) 9:00開式

場 所:附属小学校(山形市松波2-7-2)

問い合わせ:(TEL)023-641-4443

●附属中学校

日 時:平成23年3月16日(水) 9:00開式

場 所:附属中学校(山形市松波2-7-3)

問い合わせ:(TEL)023-641-4440

●附属特別支援学校

日 時:平成23年3月18日(金) 10:00開式

場 所:附属特別支援学校(山形市飯田西3-2-55)

問い合わせ:(TEL)023-631-0918

7. これまでの学長定例会見でお知らせをしたもので開催がせまっているイベント
当日の取材をよろしくお願いいたします。

○大学コンソーシアムやまがた『連携型教育フォーラム』

日 時:平成23年3月1日(火) 13:30~16:00

会 場:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対象者:大学コンソーシアムやまがた及び他大学コンソーシアム関係者、
県内自治体職員 等 50名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局
(TEL)023-628-4804

○工学部『山形の企業4社を巡る1泊2日バスの旅』

日 時:平成23年3月1日(火)~2日(水) 1泊2日

訪問企業:エムテックスマツムラ(株)(尾花沢工場)、大蔵精機(株)(山形市)
(株)片桐製作所(上山市)、(株)鈴木製作所(山形市)

対象者:山形大学工学部1年~4年、大学院理工学研究科1年 20名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:テクノプラザやまがた'84 バסטツアー事務局 担当:高橋
(E-mail) cplus.yt@gmail.com

○大学コンソーシアムやまがた

『「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする地域教育研究機能の強化」報告会』

日 時:平成23年3月3日(木) 13:30~17:00

会 場:ゆうキャンパス・ステーション(山形市:山形むらきさわビル1階)

対象者:全国大学コンソーシアム及び大学関係者 50名

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:大学コンソーシアムやまがた事務局
(TEL)023-628-4804

OSCITAセンター『科学体験教室』

日 時:平成23年3月6日(日) 10:00~15:00

会 場:霞城セントラル 1階 アトリウム

参加料無料 小さなお子様は保護者同伴でお願いします。

実施内容:スライム実験、クラゲ観察会、蔵王展、粘菌展、太陽コピー
キーホルダー作り、実験カーダンス

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:SCITAセンター
(TEL)023-628-4506

○大学院理工学研究科『産学官連携によるグローバル人材育成のためのシンポジウム』

日 時:平成23年3月7日(月) 14:30~17:00

場 所:東京第一ホテル米沢 2階 桜園の間(米沢市中央)

参加費:無 料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形大学理工学研究科

ものづくり技術経営学専攻とうほくMITRAI(みらい)コース

(TEL)0238-26-3622(当日は、0238-26-5570)

○「社会人基礎力育成グランプリ」決勝大会進出

【決勝大会】

日 時:平成23年3月9日(水) 10:30~18:00

場 所:日経ホール(東京都千代田区大手町 1-3-7)

問い合わせ:工学部広報室 青木

(TEL)0238-26-3419

○工学部『米沢バイオ公開セミナー・シンポジウム』

日 時:平成23年3月9日(水) 13:30~17:15

平成23年3月10日(木) 13:00~16:40

場 所:山形大学工学部百周年記念会館(米沢市・工学部キャンパス)

参加費:無 料

[詳しくは、別添の資料をご覧ください。]

問い合わせ:山形大学工学部バイオ化学工学科

(TEL)0238-26-3180

平成22年度 山形大学OBセミナー

山形大学「同窓会員」の皆様へ、現在の山形大学の取り組み等をご紹介します、一層のご理解をいただくため、本セミナー及び交流会を開催いたします。さらに、これを機に同窓会員相互の親睦を一層深めていただければ幸いです。

日時 平成23年3月5日(土) 10:30～14:30

場所 山形大学 東京サテライト

東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター1階 国際会議室

会費 セミナー無料、交流会4,000円

定員 100名

ご紹介予定



がくちょうせんべい
純米吟醸酒
「みどり樹」など

プログラム

10:30～10:40 開会の挨拶 結城章夫 学長

10:40～12:00 講演会「生活習慣と健康・長寿」 河田純男 理事・副学長

要旨：平成20年から始まったメタボリックシンドローム検診、なぜ男性(85cm)は女性より(90cm)より少ない腹囲で判定されてしまうのか。最近の研究で分かってきた、脂肪組織の違いや、インスリン抵抗性等の研究成果を分かりやすく説明し、健康で長生きする方法を伝授します。

12:00～12:30 展示会「山形大学の今」

・各学部の活動紹介、パネル展示
・山形大学オリジナルグッズの紹介
・「卒業・修了制作展」—地域教育文化学部—
ぜひご覧ください。

12:30～14:30 交流会(立食パーティー)

5階会場

地域教育文化学部 文化創造学科 造形芸術コース・大学院 文化創造専攻
「卒業・修了制作展」を開催中！

【開催期間】平成23年3月1日(火)～3月6日(日)
9:00～17:45(初日15:00から 最終日12:00まで)

ご連絡先：山形大学東京サテライト
TEL/FAX:03-5440-9071
e-mail:tokyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加申込書 FAX:03-5440-9071

「平成22年度 山形大学OBセミナー」への参加を申し込みます。

ふりがな		同窓会名		
氏名		卒業年	昭和・平成 年	
住所	〒	電話		
		FAX		
		E-mail		
交流会(4,000円)に参加を		希望します	希望しません	○で囲んでください。

※ご提出いただいた書類の個人情報は、本セミナーの参加に関する手続きのみに利用します。

小さな科学者 体験学習会

マイナス200度の世界

体験しよう超低温の不思議な世界！

マイナス200度は超低温の世界です。

バラの花はバラバラになり、テニスボールも

ガラスのように割れます。

風船はどうなるでしょうか。

しゃぼん玉はどうでしょうか。

超伝導(ちょうでんどう)というのは何でしょうか。

さあ、超低温の不思議な世界で、

わくわくしてみませんか。

●とき
2011年

3/12 (土)

午後1時30分～3時30分

●ところ
サイタ
山形大学SCITAセンター
山形市小白川キャンパス

小さな科学者・体験学習会は、演示実験や簡単な体験型の実験を通して、子どもたちに科学のおもしろさ・楽しさに触れてもらおうと企画したものです。
春休みに親子で楽しくサイエンスに触れてみませんか？



- 対象・定員 小学4年生～中学生20名とその保護者(申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。)
- 参加費 無料
- 申し込み先 990-8560 山形市小白川町1-4-12 山形大学理学部事務ユニット「マイナス200度」係
- 申し込み方法
はがきに、住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・TEL・学校名・学年・(同伴の場合の)保護者氏名(ふりがな)・年齢・性別を記入の上ご応募ください。メール・FAXでも受け付けます(下の問い合わせ先まで)。申込み結果は、しめ切り後、郵送または電話でお知らせします。
- 申し込み期間 平成23年2月7日(月)～3月2日(水)必着
- お問い合わせ 山形大学理学部事務ユニット 鈴木
TEL:023-628-4505 FAX:023-628-4510
E-mail: koukai@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

主催 山形大学理学部
後援 山形市教育委員会

山形大学研究シーズ活用セミナー



日時 平成23年3月14日(月)

開場/午後0時30分 開始/午後1時



米沢市西大通

アクティール米沢
2F大会議室

ポスターセッション 2F研修室

①共同研究事例セミナー

- 1:10 **「従来の常識をくつがえす高強度ゲル」**
～世界標準化の独自技術「ゲル」を活かしたものづくりへの応用～
山形大学大学院理工学研究科 機械システム工学 古川 英光 准教授
- 1:40 **「ライフ&グリーンイノベーションを支える表面処理材料」**
～産官学連携による特許化と製品化成功事例の紹介～
山形大学大学院理工学研究科 バイオ化学工学 田中 賢 教授
- 2:10 質疑応答

②シーズ活用セミナー

- 2:20 **「プロセス革新のための科学技術シーズ集の活用について」**
山形大学国際事業化研究センター
- 2:30 閉 会

ポスターセッション併設開催 (午後0時30分～)

◆ポスターセッション概要説明 科学技術振興機構 さきがけ 研究者
山形大学大学院理工学研究科 国際事業化研究センター 堀田 純一 准教授

◆大学研究シーズポスター・セッション(展示会) ※発表会は行いません。ポスターによる研究内容の展示と関連する技術相談となります。

- | | | |
|-------------|-----------|---|
| ●情報科学 | 野本 弘平 研究室 | 「認知と感性の解析とそのヒューマンインターフェースへの応用」 |
| ●物質化学工学 | 桑名 一徳 研究室 | 「リスクアセスメントとリスク評価手法に関する研究」 |
| ●物質化学工学 | 松嶋 雄太 研究室 | 「資源・環境に配慮した機能性材料設計」 |
| ●有機デバイス工学 | 増原 陽人 研究室 | 「溶解度差と分子間相互作用を利用したナノ結晶・粒子の創製」 |
| ●機械システム工学 | 吉田 健吾 研究室 | 「金属材料の内部組織を考慮した塑性加工技術」 |
| ●応用生命システム工学 | 李 秀雄 研究室 | 「持ち上げ動作支援のための前腕支持型パワーアシストシステム (FOLAS) 」 |
| ●応用生命システム工学 | 堀田 純一 研究室 | 「光の回折限界を超える光学顕微鏡による次世代三次元ナノ計測」 |

※セミナー参加者には山形大学国際事業化研究センター刊
「プロセス革新のための技術シーズ集」冊子を贈呈します。

参加方法等は裏面をご覧ください

主催/山形県置賜総合支庁委託事業「置賜の次代を担うものづくり企業創出事業」プロジェクト

共催/山形大学国際事業化研究センター

共催/置賜地域プラットフォーム協議会・NPO法人Y-MOTネットワーク

山形大学研究シーズ活用セミナー

受講料は無料ですが、事前の申込みをお願いします

問合せ先・申込先

〒992-0039 山形県米沢市門東町3丁目1番47号
山形大学工学部米沢街中サテライト
キャンパス内

置賜の次代を担うものづくり企業創出事業

プロジェクト事務局 金子

TEL 0238-40-0761 FAX 0238-40-0765

E-mail nkaneko@yz.yamagata-u.ac.jp

〈シーズ活用セミナー会場案内図〉



〒992-0059 山形県米沢市西大通一丁目5番5号
TEL 0238-21-5655

申込方法

参加申込は、FAXまたはE-mailにより、お名前、連絡先等をお知らせ願います。

FAXで申込みの場合、下記に記入して送信ください。

参加申込書

FAX 0238-40-0765

申込締切：平成23年3月9日(水)

会社名・団体名		
ご住所		
連絡先電話番号・E-mail		
参加者名	職名	

連携型教育フォーラム

日時 平成23年3月1日(火) 13:30~16:00

場所 ゆうキャンパス・ステーション

(山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階 023-628-4842)

対象者 大学コンソーシアムやまがた及び他大学コンソーシアム関係者
県内自治体職員 50名程度

プログラム

1. 大学コンソーシアムやまがた連携型教育推進事業報告(30分)

山形大学教授 横井 博 氏

2. 連携型科目開発の事例報告(各20分)

「公益社会演習」 東北公益文科大学教授 呉 尚浩 氏

「<遊具>を創る」 東北芸術工科大学教授 片桐 隆嗣 氏

3. 大学コンソーシアムせと事例報告(30分)

「まちづくり施策協働プログラム」

大学コンソーシアムせと地域交流事業部及び教育事業部委員 坂本 剛 氏

(名古屋産業大学環境情報ビジネス学部准教授)

4. 意見交換(30分)

テーマ「大学コンソーシアムは地域課題にどのように向き合えるか」

司会 山形大学人文学部准教授 下平 裕之 氏

パネリスト 名古屋産業大学准教授 坂本 剛 氏

東北公益文科大学教授 呉 尚浩 氏

東北芸術工科大学教授 片桐 隆嗣 氏

山形大学教授 横井 博 氏

ゆうキャンパス・ステーション
(JR山形駅から東方へ約150m)



主催 大学コンソーシアムやまがた連携型教育研究会

申込方法 電話・FAXまたはE-MAILにて、氏名・所属・連絡先を
下記申込先へお知らせください。

申込期限 平成23年2月25日(金)

お申込み・お問合せ先

大学コンソーシアムやまがた事務局 (山形大学 大学連携推進室 横井・伊藤)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 TEL:023-628-4974 FAX:023-628-4078

E-Mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

参加費無料

**学生
募集中**

2月3日申込×切

あのバスの行きつく場所には
感動の出会いと新しい発見がある

photo by シーラ



山形の企業4社を巡る1泊2日バスの旅

注：求人のための工場見学・会社説明会ではありません

【概要】このバスツアーは山形県内のものづくり企業を訪問し、実際に働く現場に足を踏み入れ、経営者らとの意見交換を通して、企業や経営者本来の姿の理解を深めるものです。同時に、様々な場面での議論を経験することによって、これまでの自分自身と向き合うキッカケをつくります。

【期日】平成23年3月1日(火)・2日(水)
1泊2日(ホテル宿泊予定)

【訪問企業】エムテックスマツラ株式会社(尾花沢工場)
大蔵精機株式会社(山形市)
株式会社片桐製作所(上市市)
株式会社鈴木製作所(山形市)

【参加費用】無料

【定員】20名(応募者多数の場合は抽選にて決定)

【対象】山形大学工学部1年～4年
山形大学大学院1年 ※社会人学生は除く

【申込締切】2月3日(木)17:00まで

【申込方法】裏面の申込み用紙を記入の上、5号館2階キャリアサービスセンター南側掲示板付近に設置している申込用紙回収箱に投函ください。
2月4日以降、申込者全員に対し参加の可否通知をメールあるいは電話いたします。

【その他】山形大学の教員が1名同行します。
2～3時間程度の事前指導があります。
(日程は参加者が決定次第連絡します)

山形大学工学部発着バスでの移動になります。
発着時間等の詳細は2月中旬頃ご連絡致します。
本企画は就職に直結するものではありません。

【問い合わせ】cplus.yt@gmail.com

バスツアー事務局 担当：高橋



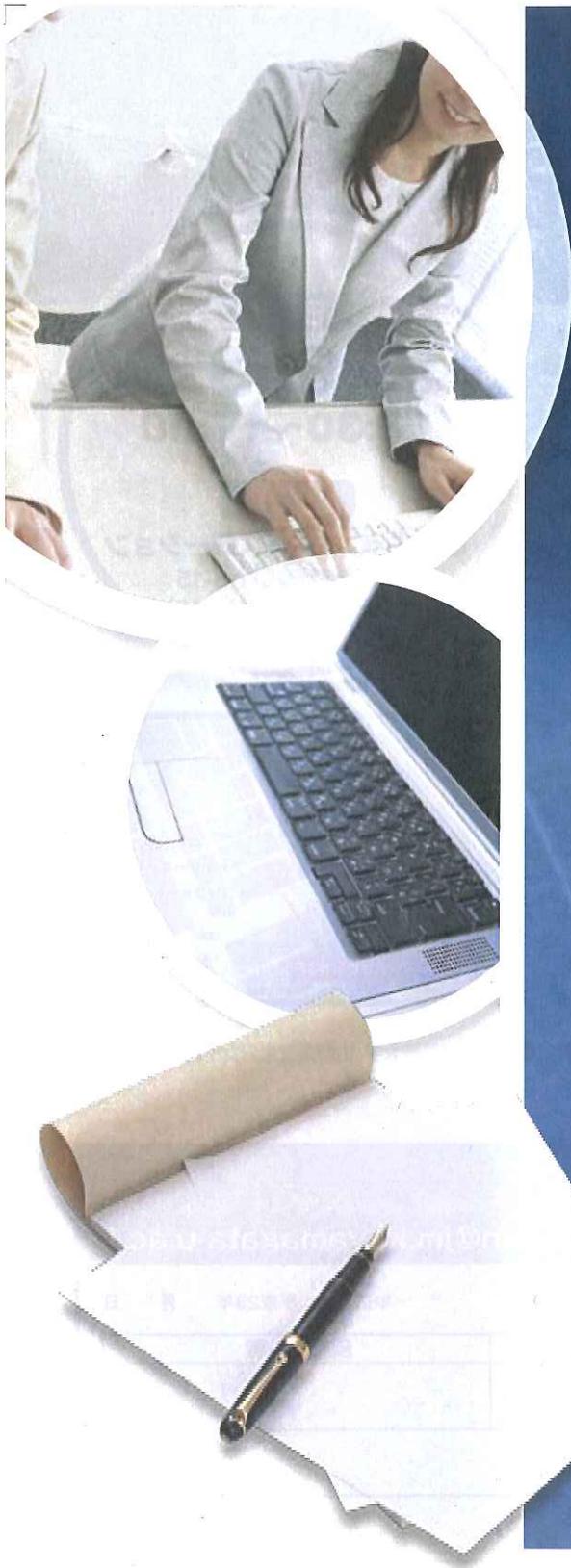
主催 テクノプラザやまがた'84
協力(財)山形県企業振興公社 山形大学工学部

応募者多数の場合、抽選となります。抽選の結果は2月4日以降、
申込者全員にご連絡致します。



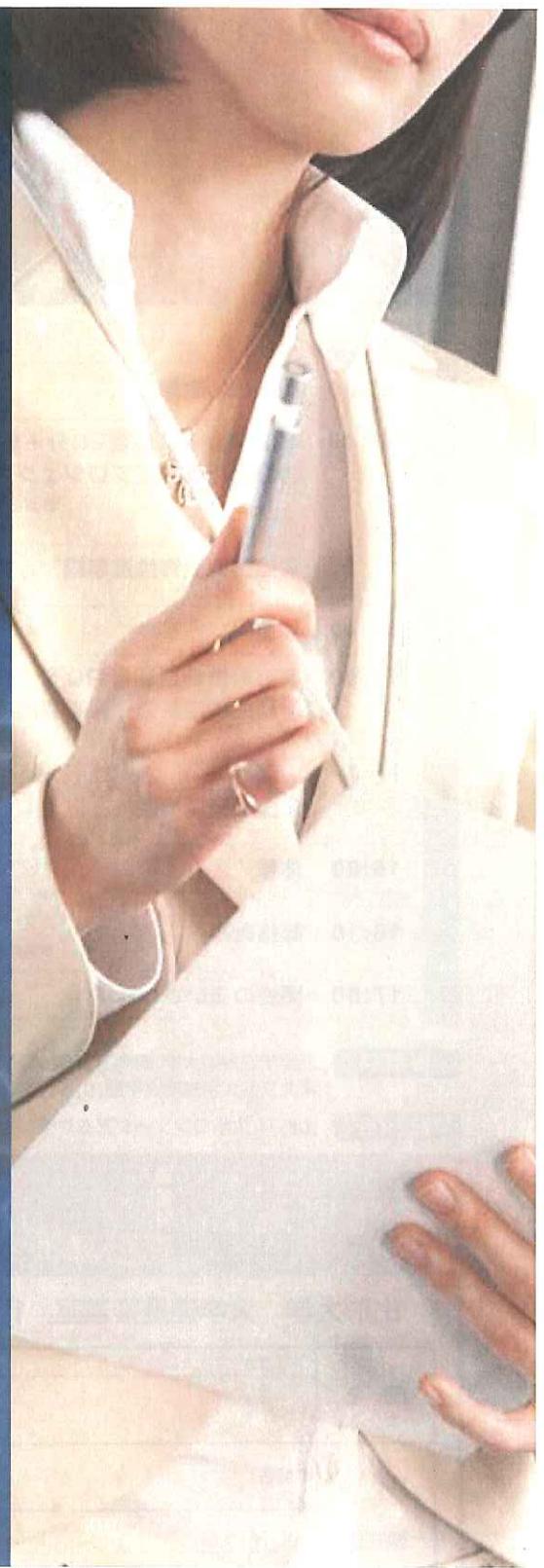
申込記入事項	
(フリガナ) お名前	() 男 ・ 女
学科・専攻	工学部 大学院理工学研究科 学科 専攻
電話（携帯電話）	
e-mail	@
現住所	
生年月日	年 月 日 （満 歳）
出身都道府県	
バスツアー参加経験	<p>同様のバスツアーに参加した経験はありますか？</p> <p>なし ・ あり</p> <p>※ありの方は下記の参加したツアーに○をつける</p> <p>①2009年8月の工学部バスツアー</p> <p>②2010年9月の工学部バスツアー</p> <p>③その他 開催時期： 年 月 開催地： 県</p>
申込理由・動機	<p>【注】基本的に全てご記入頂かないとエントリーできませんのでご注意ください。</p>
質問・特記事項	何かありましたらご記入下さい。

ご記入頂きました個人情報はバスツアー以外の目的には使用致しません。



文部科学省「大学教育充実のための戦略的・大学連携支援プログラム」

「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする 地域教育研究機能の強化」報告会



日時 平成23年
3月3日(木) 13:30~17:00

会場：ゆうキャンパス・ステーション
山形市香澄町1-3-15(山形むらさきビル1F)

対象者

全国大学コンソーシアム及び
大学関係者 50名

目的

平成20年度~22年度に実施した「大学コンソーシアムやまがたを基盤とする地域教育研究機能の強化」の事業内容を振り返り、目的・計画どおり遂行できたかを評価する。あわせて、来年度以降の活動の事業のあり方について議論する。

企画・実施 大学コンソーシアムやまがた事業評価委員会

- 申込方法 テラシ裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-MAILにてお申し込みください。
- 申込期限 平成23年2月25日(金)

お問合せ先 山形大学 大学連携推進室(大学コンソーシアムやまがた事務局)

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
TEL.023-628-4804 FAX.023-628-4078
E-MAIL dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



日時 平成23年3月6日(日)

10:00~15:00

場所 霞城セントラル 1階 アトリウム

- ・スライム実験 ・クラゲ観察会
- ・蔵王展 ・粘菌展 ・太陽コピー
- ・キーホルダー作り ・実験カーダンス

参加料無料 小さなお子様は保護者同伴でお願いします

- ・主催 やまがた『科学の花咲く』プロジェクト(提案:山形県、運営:山形大学)
(JST地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」)
- ・共催 鶴岡市立加茂水族館、東北文教大学・短期大学部
山形県立博物館、学校法人龍華学園
- ・後援 世界化学年日本委員会



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

産官学連携によるグローバル人材育成のためのシンポジウム

“もっとみらい”コンソーシアム 第2回定期総会

テーマ

グローバルな時代を勝ち抜くための国際人材育成の仕組み
—これまでの山形大学における先進的な取り組みから—

受付開始	14:00~
【第一部】 14:30 ↓ 15:30	●「開会の挨拶」 Y-MOTネットワーク代表 濃邊 毅氏 山形大学大学院理工学研究科研究科長・工学部長 大場 好弘氏
	●「国際経済の多様化と国際人材育成の重要性」 山形大学大学院理工学研究科 准教授 とうほくMITRAIコース・プロジェクト推進担当 綾部 誠氏
	●「山形大学におけるビジネス日本語教育の成果」 山形大学大学院理工学研究科 とうほくMITRAIコース 語学教育担当 准教授 仁科 浩美氏 講師 楊 帆氏
	●「とうほくMITRAIコース在校生による発表」 とうほくMITRAI在校生
【第二部】 15:30 ↓ 17:00	●「拡大する中国経済と日本のものづくり企業の海外戦略」 山形大学 産学連携教授 柴田 孝氏
	●「海外展開する日系企業の人材育成と海外戦略」 山形大学大学院理工学研究科 教授 とうほくMITRAIプロジェクトリーダー 高橋 幸司氏
	●「国際人材育成政策と中小企業支援策」 経済産業省東北経済産業局地域経済部産業人材政策課長 兎澤 健氏
	●「閉会挨拶」 山形大学大学院理工学研究科 教授 ものづくり技術経営学専攻長 松田 修氏
【懇親会】	17:00~18:30

グローバル化とボーダレス化が目まぐるしい勢いで世界中を圧巻するなか、日本国内では少子高齢化による人口動態の変化、国家財政の恒常的な赤字を背景にしつつ、団塊世代・熟練工の大量退職、国際競争力の相対的低下、産業の空洞化など諸課題が山積しています。

このようななかで日本企業の事業展開や生き残りのためにカギとなるのが、優秀な国際人材の確保と人材育成のための仕組みの構築です。

このシンポジウムでは、上記のような視点からこれからの時代を切り拓くための「国際人材の育成」に焦点をあてて、議論を深めます。

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学(MOT)専攻
とうほくものづくり国際人材育成プログラム
[アジア人材資金構想 経済産業省・文部科学省連携事業]

みらい
とうほくMITRAIとは…
Monozukuri Industry Talents Relating to
Asian Innovationの頭文字をとった略です。

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学(MOT)専攻は、平成20年から経済産業省・文部科学省の共同委託事業である「アジア人材資金構想」に取り組んでいます。このプロジェクトは、アジア各国から秀でた留学生をリクルートし、山形大学において高度な専門教育と技術経営学にかかわる特殊教育を実施するとともに、日本に関連する教育(日本語、日本ビジネス、日本事情、日本文化などの日本教育)を行うものです。大学院を修了した留学生は卒業後に東北地域の企業に就職し、企業の海外における市場開拓、海外への技術移転や事業展開、マネジメントなどの局面において中核的な役割を担います。山形大学ではこれまでに数多くの優秀な留学生を世界各国から受け入れており、これからの山形県や東北地域の企業活動を担える国際人材の育成を推進しています。

会場 東京第一ホテル米沢 桜園の間(2階)
〒992-0045 山形県米沢市中央1-13-3
山形新幹線JRI「米沢駅」下車、「米沢駅」よりタクシーで約10分(駐車場あり)

日時 平成23年3月7日(月)
【総会】14:30~17:00
【懇親会】17:00~18:30

参加費 第一部、第二部：無料 懇親会：1,000円

申込方法 このチラシ裏に必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。または裏面の記載事項を明記のうえ、メールにてお申し込みください。

その他 シンポジウムのテーマや山形大学の国際人材育成、ならびにコンソーシアムに興味・関心のある方は自由に参加できます(企業および個人)。



申し込み先 “もっとみらい”コンソーシアム第2回定期総会運営事務局

Fax:023-624-5902 メールアドレス:ab-okitama@y-ab.co.jp

問い合わせ先

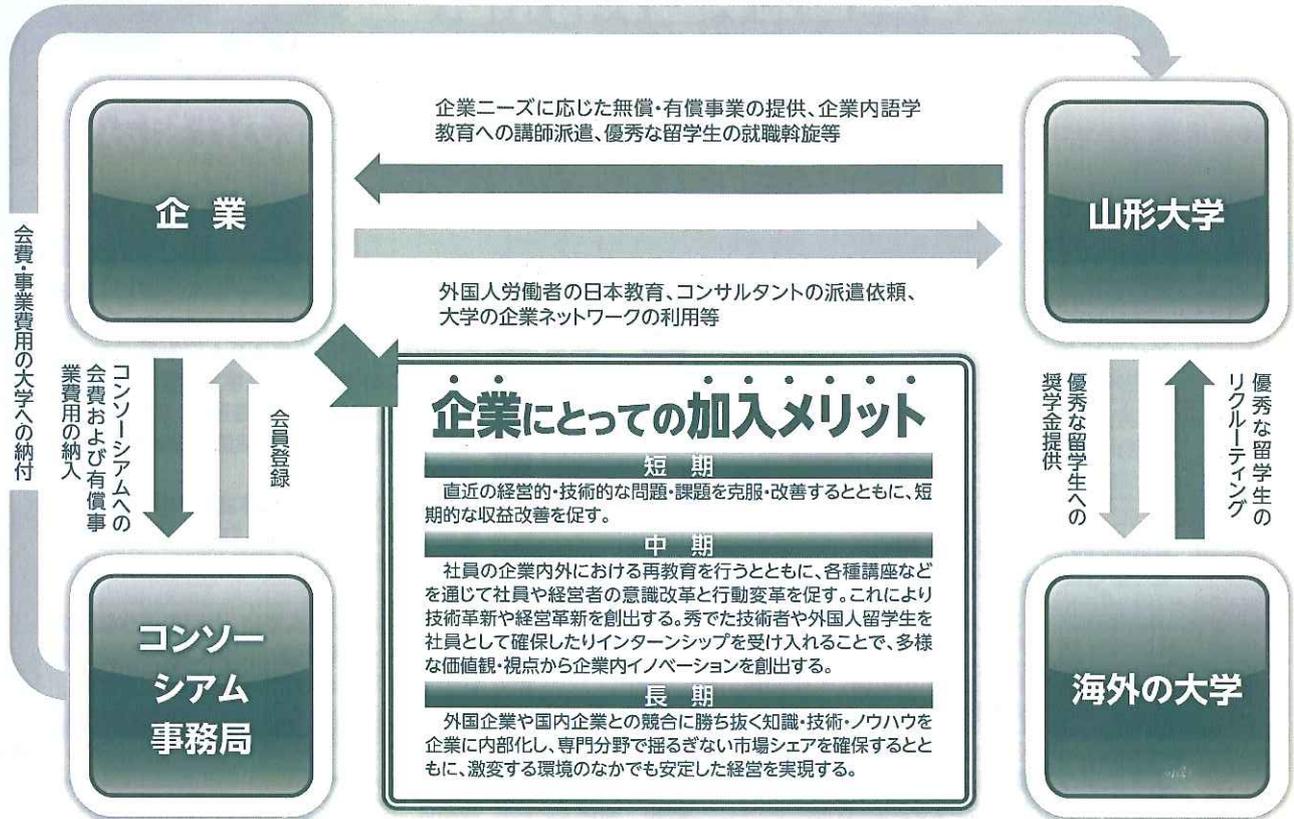
山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻とうほくMITRAI(みらい)コース

〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 Tel:0238-26-3622

※総会当日(3月7日)は、Tel:0238-26-5570までご連絡ください。

山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻 とうほくMITRAIコースは、 コンソーシアム参加企業を募集しています。

山形大学大学院理工学研究科MOT専攻は、これまでの長年にわたる教育実績と経験・ノウハウを基盤として、大学と企業との協力関係をさらに強化することを通じて、人材育成や先進的な講義・セミナーを多方面で開催し、地域産業の発展と飛躍に貢献します。企業の皆様にはコンソーシアム会員として参加していただくことによって、様々な特典・機会が得られ、企業における開発・生産・販売・管理等の諸活動を多面的に支援します。



【コンソーシアム会員向け事業の紹介】

コンソーシアムにご加入いただくと下記のサービス・特典が受けられます

【無償のサービス・教育等】

- 双方向教育……山形大学MOT所属教員がコンソーシアム参加企業を訪問し、外国人雇用のメリットと雇用方法に関する講演を実施します。
- 研究会への参加……ものづくり・ひとづくりに関して定期的に開催される研究会に参加することができます。
- マッチングの利用……大学の企画・実施する就職説明会に優先的に参加することができます。
- 無償講座の実施……山形大学MOT所属教員が会社や工場を訪問し、ものづくり・人づくりに関する講演・講義を実施します(1会員につき最大1回)。

【有償のサービス・教育等】

- 有料講座への参加……企業ニーズを踏まえた形でのMOT所属教員による有料講座を受講することができます。
- ショートコースへの参加……技術経営やものづくり・ひとづくりに関連する連続公開講座を優先的に受講することができます。
- 外国語講座への参加……私費留学生による外国語講座(例:中国語、ベトナム語、フランス語等)を、申請に基づき企業内で開催することができます。
- コンサルティングの優先的権利……MOT所属教員による技術・経営コンサルティングを申し込み、優先的に受けることができます。

“もっとみらい”コンソーシアム 第2回定期総会 参加申込書 申込締切日/平成23年3月3日(木)

Fax:023-624-5902 メールアドレス:ab-okitama@y-ab.co.jp

※メールの場合はタイトルに「シンポジウム申込」と記載のうえ下記の内容を明記してお送りください。

ご氏名	(ふりがな)	ご所属 (会社名)		
	〒		電話番号	
ご連絡先		懇親会 (どちらかに○)	参加する	参加しない

米沢バイオ公開セミナー・シンポジウム

米沢でのバイオ分野の研究は始まったばかりです。バイオ分野の研究の発展と新たな拠点となることを目指し、バイオの基本を知り、その先端研究に触れるための公開セミナー・シンポジウムを開催します。

期日 平成23年**3月9日(水)・10日(木)**

場所 **山形大学工学部百周年記念会館** ※参加人数により会場が変更になる場合がございます。
山形県米沢市城南4丁目3-16 山形大学工学部内



第一部 3月9日(水) 13:30~17:15

対象/高校生以上

教育セミナー: 私たちの体の働きについて

神経系の仕組みと働きについて

埼玉大学大学院 理工学研究科 生体制御学 准教授 塚原伸治先生

体のバランスを整える内分泌系の役割とは

埼玉大学大学院 理工学研究科 生体制御学 教授 坂井貴文先生

体を守る免疫系の仕組みについて

東邦大学医学部 免疫学教室 講師 石川文雄先生

第二部 3月10日(木) 13:00~16:40

対象/大学生・短大生以上

最先端バイオ研究シンポジウム

脳の性分化機構:

雌雄で異なる脳の構造と機能について

埼玉大学大学院 理工学研究科 生体制御学 准教授 塚原伸治先生

消化管ホルモンによる胃運動調節について

—グレリンとモチリンの胃収縮刺激作用—

埼玉大学大学院 理工学研究科 生体制御学 教授 坂井貴文先生

アルコールのTh2/Th17細胞分化に

及ぼす影響について

東邦大学医学部 免疫学教室 講師 石川文雄先生

神経
内分泌
免疫



主催/山形大学工学部バイオ化学工学科

本セミナー・シンポジウムは、文部科学省科学技術振興調整費「若手研究者の自立的な研究環境整備促進」事業の支援を受け、開催しております。

本セミナーに関するお問い合わせはこちらまで

TEL 0238-26-3180 FAX 0238-26-3177
E-mail kurotanir@yz.yamagata-u.ac.jp

[担当] 山形大学工学部 バイオ化学工学科 黒谷 玲子・荒井 康子

米沢バイオ公開セミナー・シンポジウム プログラム

日時:平成 23 年 3 月 9 日(水)・10 日(木)

場所:山形大学工学部百周年記念会館

第一部(1日目) 教育セミナー:私たちの体の働きについて

3 月 9 日(水) 13:30-17:15

13:30 - 13:35 開会の辞

(山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学 佐藤慎吾 先生)

13:35 - 14:40 神経系の仕組みと働きについて

埼玉大学大学院理工学研究科 生体制御学 准教授 塚原伸治 先生

14:40 - 14:50 休憩

14:50 - 15:55 体のバランスを整える内分泌系の役割とは

埼玉大学大学院理工学研究科 生体制御学 教授 坂井貴文 先生

15:55 - 16:05 休憩

16:05 - 17:10 体を守る免疫系の仕組みについて

東邦大学医学部 免疫学教室 講師 石川文雄 先生

17:30-19:30 懇親会 百周年記念会館 2 階 (会費 3000 円)

第二部(2日目) 最先端バイオ研究シンポジウム

3 月 10 日(木) 13:00-16:40

13:00 - 13:05 開会の辞

(山形大学大学院理工学研究科バイオ化学工学 阿部宏之 先生)

13:05 - 14:10 脳の性分化機構:雌雄で異なる脳の構造と機能について

埼玉大学大学院理工学研究科 生体制御学 准教授 塚原伸治 先生

14:10 - 14:20 休憩

14:20 - 15:25 消化管ホルモンによる胃運動調節について

—グレリンとモチリンの胃収縮刺激作用—

埼玉大学大学院理工学研究科 生体制御学 教授 坂井貴文 先生

15:25 - 15:35 休憩

15:35 - 16:40 アルコールの Th2/Th17 細胞分化に及ぼす影響について

東邦大学医学部 免疫学教室 講師 石川文雄 先生